



中学校の雰囲気を感じる 6年生体験入学

1月28日(木)の午後から、6年生児童に対して本校の体験入学を実施しました。当日は小学校から児童12名、保護者10名、先生方2名に参加いただきました。多目的室でのオリエンテーションではやや緊張の面持ちでしたが、しだいにリラックスした感じになってきました。

授業体験では理科の授業を50分間みっちり受けました。液体窒素を使った状態変化の実験で、花やテニスボールを凍らせて粉々にしたり、二酸化炭素からドライアイスに変化させたりしました。

学校説明では、生徒会執行部から、クイズ等を交えながら中学校生活全般について説明を受けました。

部活動見学では、体育館で女子バスケット、屋外で男女テニスを見学し、後半は実際にボールやラケットを使って練習体験をしました。

約2時間半の体験入学でした。



授業体験 (理科)



学校説明 (生徒会)



部活動見学及び体験



人権学習

3学期の人権旬間は、1月21日(木)から2月2日(火)でした。この間の各学年の人権学習の内容は次のとおりです。

<1年生：水俣病をめぐる人権>

小学校5年生での「水俣に学ぶ肥後っ子教室」の学習をもとに、差別解消のための行動について考える。

<2年生：高齢者・障がい者の人権>

高齢の方や障がいを持たれた方などの立場から社会に目を向け、身近な生活に潜む差別や偏見について考える。

<3年生：ハンセン病回復者等の人権>

ハンセン病についての正しい知識や理解を深め、元患者の方々が受けた差別の不当性について考える。

3学年とも共通するのは外見上の違いや行動面等の特性に対する偏見や差別があるということです。原因は、病気等に対する正しい理解がされていないこと、病気に対する不安や恐怖心があること、特性を認めることができないこと、知識は持っていても行動に移せないことなど、多々あると思います。無知や長年すり込まれた偏見等による差別は、2学期に学習した同和問題と同じ構図です。単なる知識で終わるのではなく、意識を変え、行動を変えることが社会で求められています。コロナ禍における差別にも通じます。

生徒会活動開始



生徒会の役員が2年生へと代わり、本格的に活動が始まりました。毎朝、正門であいさつ運動(7:45~7:55)もおこなっています。

今回は各種委員会の委員長を紹介します。なお、委員会の再編により、3月までと次年度4月からの2通りあります。

- | | |
|----------------|-----------|
| 【3月まで】 | (4月から) |
| 代議 : 丸谷菜々胡さん | (代議委員長) |
| 文化放送 : 平山奈於さん | (情報文化委員長) |
| 保健環境 : 赤崎りなさん | (健康体育委員長) |
| 生活体育 : 森下晃太郎さん | |
| 図書 : 池田梨乃佳さん | ※4月から3つの |
| 給食 : 福原楓花さん | 委員会へ再編 |

本校生徒の学力の実態～県学調結果分析から～

※熊本県学力・学習状況調査（熊本市を除く県内全ての小・中学校で実施。中学校は1・2年を対象で、本校では令和2年12月1日に実施した。）

1 学力調査結果分析（実施教科：国語、数学、英語）



【1年】

- 国語にやや弱さが見られるものの、3教科ともほぼ全国や県の平均と同程度の結果である。
- 国語、数学に関しては、小学校6年時の結果からの変容はあまり見られない。
- 教科別では数学が最も高い結果ではあるが、基礎と活用という視点で見ると、活用（いわゆる思考力や表現力を問う発展問題）に弱さが見られる。
- 英語については全国平均を超えている生徒が他の2教科よりも多い。



【2年】

- 3教科とも全国や県の平均を下回っている。
- 昨年度は教科間で差が見られたが、今年度はどの教科もほぼ同程度の結果である。
- 昨年度に比べ英語については偏差値平均で2.5ポイントほど伸びている。個別に見ても9人の生徒に伸びが見られた。
- 国語については全国平均並もしくはそれを超える生徒が半数近くいる。



2 対策

（1）個別学習プリント集を使った対策

各生徒の結果に応じた個別プリント集を配付した。朝自習、放課後の補充学習、家庭での自学で取り組む。最低3回はこなすように指導している。

（2）授業での対応

課題が見られた内容については、学期後半の授業の中で復習プリントを用いて確認していく。

3 質問紙調査結果（傾向分析）

【1年】

- ソーシャルスキル・社会参画について、「ルールやマナー」「困っている人に対する理解や援助」「ボランティア活動」に関する項目の肯定率が高い。
- 学級風土やリスク管理について、「クラスの雰囲気」「クラスメートのよさ」の肯定率が高いものの、「クラスの盛り上がり」「クラスの好感度」「友達との関係性」についてはやや低い傾向にある。学級集団としての仲間意識や活動等を通じた達成感を味わわせたい。

【2年】

- 愛情に関することについて、「家族の存在」「家庭のやすらぎ」「友達との関係性」に関する項目の肯定率が高い。
- 自己肯定感について、「自信の有無」「勉強への関心・意欲」の肯定率が低い。また、「うれしさや悲しさの表現」「思いやりの行動」「正しいことの主張」「納得する方法の提案」などソーシャルスキルに関する肯定率もやや低い。

※あくまで本調査の結果であり、一面的な分析でしかありません。参考程度にお読みください。

学習環境、職場環境の整備

コロナ禍により、今年度は年度当初から感染拡大防止のための予算が配当されています。今までに消毒液、体温計、演台用アクリル板、CO2濃度測定器、サーキュレーター（各教室用）等を購入・設置しています。この冬は、各教室に加湿器を、職員室に間仕切り用のアクリル板を設置しました。



また、コロナ禍によりGIGAスクール構想が前倒しになったことを受け、2月5日に1人1台のタブレットが配置されました。校舎内は高速大容量のアクセスポイントの工事があり、wifi環境も整備されています。次年度からは、専用タブレットを用いた学習が始まります。